

## 『続・筏師の道を歩く』

—下北山村の筏師の足跡と、水没した摺子発電所—

昨年秋に3回シリーズで実施した「筏師の道を歩く」の続編として、今回は奈良県下北山村の筏師の歴史に迫ります。

まず、下北山村の筏師たちが七色（和歌山県北山村）まで筏を届けたあと、家路へと歩いた集落を結ぶ道、不動峠を歩きます。そして電源開発によって設けられた筏を流すための水路が残る、摺子発電所を見学します。

筏師の歴史を通して、熊野の山間部でのくらしと時代の変遷について考えを深めることが目的です。

道路網が整備されていなかった頃、北山川流域の奥深い山々で伐採された木々は、筏師の活躍によって下流へと流されました。最盛期には北山川流域には500人以上の筏師がいたと言われています。

その中で下北山村の筏師の仕事には一般的に、上流の上北山村河合まで出かけ、下北山村池原まで筏を流す「かみゆ上行き」と、池原から下流の七色（和歌山県北山村）まで筏を流す「しもゆ下行き」がありました。特に下行きには、最大の難所である七色の滝があり、巨岩が乱立する間を進まなければならない、ものすごい急流の連続でした。下行きで七色まで筏を無事に届けた筏師は、棹と櫂を担いで不動峠を越えて家路へとつきました。



不動峠へと続く道



摺子発電所と筏流用の水路

一方、昭和6年、電源開発のための摺子発電所の完成に伴い上流に堰堤ができたため、筏流しの一区間は堰堤から摺子発電所までの間に新設された約3,000mにも及ぶ水路を通して流送されることになりました。現在では摺子発電所はその役目を終え、七色ダムが完成したために水没しています。

ガイドの山川さんと中村さんが引き続き調査を進め明らかになった、筏師の歴史の一端を巡ってみましょう。

## 実施要領

### ■実施日

平成20年**3月8日（土）** 延期の場合は翌日9日（日）

### ■集合

七色ダム横、駐車場（三重県熊野市神川町 県道神川五郷線沿い）

### ■行程

- 8：30～ 8：45 七色ダム集合、オリエンテーション
- 8：45～ 9：10 歩行開始地点まで移動（各自家用車）
- 9：10～11：30 不動峠を歩行
- 11：30～12：00 昼食（下北山村歴史民俗資料館）
- 12：00～12：30 下北山村歴史民俗資料館を見学、館長福本さんと懇談
- 12：30～12：45 摺子発電所近くへ移動（各自家用車）
- 12：45～13：15 摺子発電所まで歩行
- 13：15～14：15 摺子発電所、水路見学
- 14：15～14：45 帰路歩行
- 14：45～15：00 ミーティング後、解散（多少時間が前後することがあります）

### ■募集人数

10名様

（お申し込み多数の場合は、3月4日（火）に抽選で決めさせていただきます。  
お二人以上で一緒に参加ご希望の場合は、グループで一人として抽選します。）

### ■お申し込み締切り

**3月3日（月）** 必着

### ■参加費

3,200円

【ガイド料、傷害・賠償保険代、実施経費の一部（現地調査費・通信費等）】

### ■持ち物

登山靴の着用をお勧めします。昼食、飲み物、雨具など冬のハイキングに必要なものを各自ご用意ください。長靴、懐中電灯（水路の見学時に必要です）

### ■ガイド

山川治雄氏（三重県熊野市）、中村 稔氏（三重県熊野市）

### ■ご注意

道中は道幅の狭い場所や足元が悪い場所があり、上り下りの急な場所もあります。すべりにくい靴を履いて、スリップしたり転落したりしないように各自注意が必要です。健脚の方がご参加ください。

この企画は会員制の「熊野を楽しむ達人の会」規約に基づき、参加者が自己責任において任意で参加していただくものです。ガイドが安全確保しながらご案内いたしますが、万一の事故には加入していただく国内旅行保険の範囲内で対処することにご同意の上、お申し込みください。

### ◇お申し込み方法（[参加申込書はこちら⇒](#)）

この講座は「熊野を楽しむ達人の会」の会員のためのプログラムです。

【会員の方】注意事項などをご確認の上、事務局まで郵便、ファックスまたはEメールで参加をお申し込みください。お電話でのお申し込みはご遠慮ください。

【会員でない方】[「熊野を楽しむ達人の会」の会員登録](#)が必要です。詳しくは事務局までお問い合わせください。